

みんなで子育て

各市町主催の講演会、サロンや学校・園での参集型家庭教育学級が復活してきました。

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当:酒井 俊巨
電話:0584-73-1111 <内線212>



バックナンバーはこちら ↑



輪之内町 こども園小中合同家庭教育学級 子育て、英会話、算数・数学 「講演会型」 年間3回

令和5年度 町合同家庭教育学級 第1回講座実施報告

- 1. 実施日時 令和5年6月7日(水) 13:30~15:00
- 2. 実施場所 輪之内町図書館2F 学習室
- 3. 参加者 10人(町内各小中学生の保護者)
- 4. 講座内容 講話 「子育て真最中の保護者へ～その2～」
講師 元公立学校校長 堀部 マサ 氏



- 退職して10年 物の見方・考え方が変わった
 - ・これからの子どもたちは何を指すのか
 - ・どんな世の中になっても必要な力は
- 子どもたちの心と体がやばい
 - ・食生活の変化が原因?
 - ・欧米食から日本食へ
- 砂糖・食品添加物・農薬などに要注意
 - ・食の三原則
 - ・主食をかえよう 等々

<講座の様子と講師資料の一部>



講師の堀部先生より

- ・子どもを守るの親しいない
- ・「?」から始めて、自ら考える・調べる・行動する力をつけたい
- ・様々な経験をして、価値あることを見つける力をつけたい



保護者の学びの場

輪之内町では、6月、9月、12月の年3回、こども園、小学校、中学校合同の講演会型家庭教育学級を開催しています。テーマは、現代に必要な力、食育、英会話、算数・数学など幅広く、子どもの生活改善や子どもに興味・関心をもたせる活動を学びます。園や学校の先生方も参加され、ともに学びを深めています。

開催の時期が近づくと、参加者を募集します。今回は、12月1日(金)「算数・数学に興味・関心をもたせるには(仮題)」で岐阜大学の先生がお話をされる予定です。輪之内町のこども園・小・中学校の保護者なら、どなたでも参加できます。

令和5年度 町合同家庭教育学級 第2回講座実施報告

- 1. 実施日時 令和5年9月6日(水) 13:30~15:00
- 2. 実施場所 輪之内町図書館2F 視聴覚室
- 3. 参加者 保護者・教職員 13人(+県事務所担当1人+町事務局2人)
- 4. 講座内容 講話 「親子で英会話に取り組もう」
講師 岐阜聖徳学園大学 加藤 拓由 准教授

子どもが英語に興味をもてるように、「英語の絵本の読み聞かせ」を中心に話をさせていただきました。



単なる講義形式ではなく、時々、英語の手遊びやゲームを交えて・・・



講座の様子を各校へ配付
輪之内町の家庭教育担当者は、多くの方に参加していただくために、講座の内容をまとめ、各園、各学校に配付しています。

大野町家庭教育合同研修会

心に伝わる言葉

～人とのかかわりの糸を結ぶ～
「講演会型」
令和5年7月12日(水)
13:30~14:00

「心に伝わる言葉」を生み出すために

【かかわりの内容】 【かかわりの方法】

共感 = 傾聴

受容 = 承認

家庭教育学級担当者の学びの場

大野町では、1年生の保護者が家庭教育学級を担当しています。毎年7月に町内の小学校1年生の保護者を対象に、合同研修会を行っています。2年前のコロナ禍中では、YouTubeで講話を限定配信しての在宅開催でしたが、今回は、昨年に引き続き、会場開催となりました。

西濃県事務所家庭教育推進専門職が、「相手が聞くタイミングになるまでは傾聴すること」「相手の気持ちを汲み、私が主語となる肯定的なメッセージが伝わりやすいこと」を、実際の言葉を例に挙げながら話しました。

具体的な内容で、特に、家庭での会話例がわかりやすかった。

聞きやすく、おもしろかった。

心に響く言葉だらけだった。

職場でも使える。

1年生以外の保護者にも聞いてほしい。

← アンケートより

大垣市教育委員会社会教育スポーツ課 おしゃべりサロン「いっぽ」

小中学生保護者対象 「子育てサロン型」

9:30~11:30

スイトピアセンター 学習館4階 幼児活動室



おしゃべりサロン「いっぽ」

毎日の子育てで
モヤモヤだらけのママやパパ。
ちょっと息抜きに来ませんか。
土曜日と夏休みは、小中学生の
学習支援もやっています。

場所 スイトピアセンター 学習館4階 幼児活動室

時間 9:30~11:30

※詳しい日程などは、リーフレットまたはQRコードからチェック!

〈問合せ先〉大垣市教育委員会 社会教育スポーツ課 TEL 0584-47-8039

ティッシュで広報

市役所を飛び出して市民の皆様が多く集まる場所に出かける大垣市の「飛び出す市役所」。教育委員会においても、ティッシュペーパーにサロンの情報を掲載し、家庭教育支援スタッフが、駅近くのショッピングセンターで配布しました。

大垣市家庭教育支援スタッフ

大垣市では、家庭教育支援スタッフを養成し、小中学生保護者を対象としたおしゃべりサロンを中心に活動しています。

おしゃべりサロンは、平日と土曜日に月1回ずつ、夏休み中に6回開催しています。土曜日と夏休みは、小中学生の学習支援も開催しています。特に、夏休みには、高校生、大学生のボランティアもスタッフとして入り、エアコンの効いた部屋で宿題をみてもらえるので好評です。

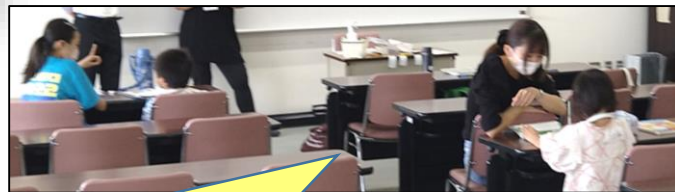
夏休みサロン（6回）のべ参加者数

保護者 40名 児童数 67名

学生ボランティア 37名



乳幼児をおもちゃで遊ばせながら、支援員さんとおしゃべりします。



学習支援は、参加人数によって個人対応となる場合があります、手厚い支援になります。

家庭教育ちょこっと情報！

「デコ活」という言葉をご存じですか？

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称を「デコ活」といいます。

二酸化炭素（CO₂）を減らす脱炭素（Decarbonization）の（DE）と、環境に良いエコ（Eco）をくっつけて「デコ」と、生活・活動の「活」を組み合わせてつくられた新しい言葉になります。

今年の夏は、異常に暑かったですが、「地球温暖化」の影響と考えられています。地球温暖化の原因と言われる「温室効果ガス」には7種類ありますが、その中で大きなウエイトを占めるのが二酸化炭素です。二酸化炭素濃度の上昇は、人間による化石燃料の消費が1番の原因と考えられています。

日本は、2030年度の二酸化炭素排出量を2013年度から46%削減するという目標を掲げています。部門別の削減目標を見てみると、産業の38%や運輸の35%を上回る、66%という高い値を「家庭」に設けています。国民一人ひとりのライフスタイルが変わらなければこの目標に近づくことはできません。よく「節電」が叫ばれますが、これは、発電割合が1番大きいのが「火力発電」であるためです。

講師派遣はこちら！

家庭、親子で取り組める「脱炭素」「カーボンニュートラル」について学びたい場合は、「**岐阜県地球温暖化防止活動推進センターの講師派遣事業**」の活用もご検討ください。

（本年度分の募集を終了している講座もありますので、HPでご確認ください。）



スカイランタン&花火

「体験活動参加型」

令和5年7月23日(日)

地域の「夏祭り」に合わせて



開校150周年・PTA企画

～子どもたちの夢をのせて～

宇留生小学校は、昨年度開校150周年を迎えましたが、コロナ禍のため、参集型の活動を行うことができませんでした。PTAとして、在校生も、卒業生を含む地域の方々も楽しみ、子どもたちの心に残るようなイベントを行いたいという思いが結集したのが、「スカイランタン&花火」です。

子どもたちの夢が夜空に浮かび上がりました！



毎日健康に過ごせますように。

家族みんなが仲良く過ごせますように。

外で元気に遊べますように。

ネイル屋さんになれますように。

学校の先生になれますように。

いもつこのゆめがかないますように。

とらの赤ちゃんをそだてられますように。

めだかが大きくなりますように。

赤ちゃんが早くうまれますように。

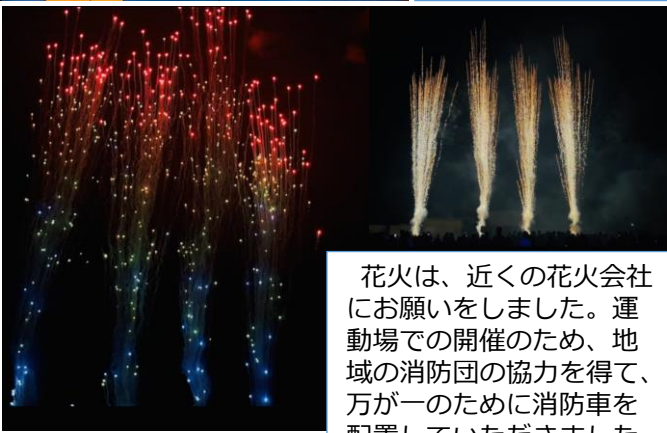
スカイランタンには、子どもたちの夢が書かれました。ヘリウムガスで浮き上がるランタンは、長さの違うひもでペットボトルに固定されています。LEDライトが底面についており、様々な色に変化しながら、夜空を漂いました。その後、スカイランタンは持ち帰り、しばらくの間、家庭で楽しみました。あらかじめ、当日参加できない方を調べ、別日に配付しました。

**“If you can dream it,
you can do it.”**
**(もし君が夢をみることができるなら、
君はそれを実現できる。)**
ウォルト・ディズニー

子どもたちが夢や希望、未来を自由に思い描けるようになればという願いは、宇留生小学校PTAの皆さんが身をもって実現させました。

日が暮れてからの開催、祭りに参加する人数の多さ、高騰するヘリウムガス、用意するランタンは550個など、経験したことのない規模のイベントでした。その開催に向けて、学校や地域の人との連絡・調整、ボランティア募集など、多くの課題を克服していきました。

「スカイランタン&花火」の案内文に掲載されたウォルト・ディズニーの言葉は、家族や友達と一緒に眺めたランタンと花火と共に、子どもたちの心にいつまでも残ることでしょう。



花火は、近くの花火会社をお願いをしました。運動場での開催のため、地域の消防団の協力を得て、万が一のために消防車を配置していただきました。

令和5年度 家庭教育学級の活動について

成人・家庭教育学級目標

楽しいいっばい！スマイルいっばい★
あやこじかん
親子時間

第1回 6月

子どもと一緒に楽しみたい
「みんなに紹介しよう！」

『好きな遊び』を親子で話し、折り紙に書いて、みんなに紹介し合います。

親子時間として…
「折り紙と一緒に折ったり、おうちの方が小学生だった頃の遊びを伝えたりしよう。」

第2回 7月23日(日)

子どもの夢を応援したい
「150周年行事(未定)」

心に残る思い出をつくりたいと計画中です。

親子時間として…
「節目の年であることを知り、思い出に残る時間を作ろう。」

第3回 9月14日(木)

学校のことをもっと知りたい
「給食 食べてみませんか？」

子ども達と同じ給食を試食し、栄養士の方から食についてのお話を聞きます。

親子時間として…
「食について考えたり、子ども達が苦手な食べ物をおいしく食べる工夫について学んだりしよう。」

第4回 11月30日(木)

獨自身もリフレッシュしたい
「お正月リースを作ろう！」

お正月にふさわしい飾りや飾り方について教えてもらいます。

親子時間として…
「季節の行事について話そう。」

第5回 冬休み

おうち時間を充実したい
「子どもと一緒に何しよう？」

～話そう！語ろう！わが家の約束～
冬休みに、家庭で楽しくできそうなことを話し合い、親子でのふれあいの時間をつくります。

親子時間として…
「家族で過ごす時間をさらに充実させよう。」

都合により変更や中止となる場合もありますので、ご了承ください。詳細については別途ご案内します。

年度当初に一年間の家庭教育学級の予定をお知らせしてまいります。内容に興味を持ってくださるとともに、参加の予定を立ててくださいます。

ボランティアスタッフ募集

ランタン一つ一つにヘリウムガスを入れ、飛んでいかないように水を入れたペットボトルに糸を括り付ける作業は、ボランティアの協力で午前中から始まりました。体育館には、ガスの入ったランタンが出番を待ちました。



池田町立西保育園 家庭教育学級
連れ去り防止教室

幼児等連れ去り事案未然防止教育班「たんぽぽ」
 (岐阜県警察)

「体験活動参加型」+「在宅取組型」

令和5年8月22日(火)

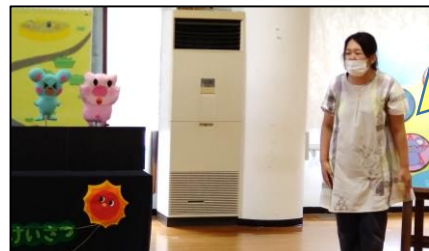
10:30~11:30

毎年恒例の安全教室

西保育園では、コロナ禍で「たんぽぽ」に来てもらえないときにも、DVDを借り、子どもたちが不審者被害にあわないように取り組んできました。今回は、コロナ前のように、3歳児以上を対象に行うことができました。

3名の専門職が人形劇で、いろいろな危険な状況から命を守る5つのやくそく「セーフティファイブ」について、子どもたちに質問をしながら、1つ1つ確認しました。

大切なのは「ひとりにならない」こと、保護者もどんなときにも「ひとりにしない」ことが大切だと学びました。



保育園の先生も
劇に参加しました。



♪ セーフティファイブのうた ♪

- 1 ひ・ひ ひつじの ひーちゃんは ぜったい ひとりにならないよ
つ・つ つるの つーちゃんは だれにも ついていかないよ
- 2 おおきな ぞうの おーちゃんは おおきなこえで さけぶんだ
(たすけて~!!)
ちいさな ねずみの ちーちゃんは ちかつかないよ はなれるよ
- 3 はなのまるい ふたの はなちゃんは なんでも おはなし できるんだ
5つのやくそく セーフティファイブ だいじな やくそく わすれない!!



子どもたち一人一人に、5つの約束のリーフレットとハンカチがプレゼントされました。これを家庭に持ち帰り、今日学んだことをおうちの人に話します。おうちの方は、わが子と気を付けることを話します。話し合った内容は、保護者会でまとめて、保護者に配付しました。

講座・リーフレットの感想、親子で話し合った内容

「子ども110番の家」のことを教えてくれました。見つけると「あった!」と嬉しそうです。4月から小学生になるので、一度小学校の通学路を歩きながら探してみたいと思いました。

「5つの約束」を一緒に読んで確認しました。大人と手を繋いで歩く約束をしました。

外出先で、手を繋ぐことをいやがることもありましたが、手を繋ぐ大切さを伝えるよい機会になってよかったです。

幼児等連れ去り事案

未然防止教育班「たんぽぽ」とは

岐阜県警察本部生活安全部少年課の地域安全巡回指導教育専門職からなる専門チーム「たんぽぽ」は、岐阜県内の小学校、幼稚園、保育園等を巡回し、子どもたちの連れ去り被害に遭わないために、不審者に対する危機察知能力や危険回避能力の向上を図る教育を行っています。

- 申し込み受付は、希望月の3カ月前から。
- 所在地を管轄する警察署の生活安全課まで。

家庭教育学級在宅取組み「防犯について」

お手数ですが、ご協力お願いします。

- 【黄・緑・赤組】
講座の感想やリーフレット等を見ながら親子で話し合った内容等
(例: 知らない人に声をかけられてもついていかないようにする、等)
- 【桃組】
リーフレットを読んでみての感想や親子で話し合った内容等
(例: 必ず大人の人と手をつないで歩くようにする、等)

いただいたリーフレットを観ながら親子で話し合いました。子どもと「5つの約束」を守ることを約束しました。親も子どもから目を離さないように気を付けなければいけないことを改めて気付かされました。子どもだけでなく、親も気を付けたいです。

ご協力ありがとうございました。
在宅取組み用紙は8月23日(水)~8月31日(木)までに玄関前の回収ボックスに入れてください。

揖斐川町立谷汲小・中学校合同

家庭教育学級

親子ヨガ

「体験活動参加型」

令和5年8月24日(木)

9:30~10:30



開かれた家庭教育学級

「親子ヨガ」ですが、保護者だけ、中学生は子どもだけの参加もOKです。当日は、全部で16人の参加があり、保護者だけでなく児童生徒が4人、学校職員も参加しました。外は雨というあいにくの天気でしたが、ヨガ会場のランチルームには、ゆったりとした時間が流れました。参加者は、講師の呼びかけに応え、様々なポーズをとることで普段使ったことのない筋肉をほぐし、リラックスしていきました。



みんなで気持ちを合わせて同じポーズをとりました。

第2回小中合同家庭教育学級のご案内

親子ヨガ教室

体を動かしてリフレッシュしませんか？



講師：chika (now yoga STUDIO)

日時：令和5年8月24日(木) 9時30分から1時間程度

場所：谷汲小学校 ランチルーム

持ち物：飲み物、タオル、シューズ、

バスタオル(あればヨガマット)

備考：保護者のみ、中学生は子どものみの参加も可能です。

動きやすい服装



参加される方は、7月19日(水)までにフォームで申し込みください。

お申し込み方法

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLS3WVtQfkWaj5hUR9>

申し込みは
グーグルフォームを利用

申し込み用紙を集める手間なく参加者数を集計し、参加者名簿も簡単に作成することができます。

小・中学校合同の家庭教育学級の実施

谷汲小学校と谷汲中学校は、約1キロ離れていますが、児童・生徒数、PTA会員数の減少に伴い、合同で家庭教育学級を実施しています。

- ① 7月 開校式及び講演会「命の大切さを学ぶ教室」
- ② 8月 親子ヨガ教室
- ③ 冬休み 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

家庭教育ちょっと情報！

「子どもの権利条約（児童の権利条約）」

1989年に国連総会で採択され、日本も1994年に批准しました。子どもの権利条約に定められた重要な権利としては、

- ① 「安全安心に成長する権利」(生命、生存及び発達に対する権利)
- ② 「子どもにとってもっとも良いことを国や大人に考えてもらう権利」(子どもの最善の利益)
- ③ 「意見を伝え参画する権利」(子どもの意見の尊重)
- ④ 「差別されない権利」(差別の禁止) の4つがあげられます。

これらの権利は、家庭で子育てをする上で重要となるポイントになります。「遊ぶ権利」「休む権利」「教育を受ける権利」「子どもの権利について知る権利」なども条約に位置づけられています。



docs.google.com/

第2回親子ヨガ教室小中合同家庭教育学級申し込み

nekowan28@gmail.com アカウントを切り替える

共有なし

長子のお子さまの学年

選択

参加者名①

回答を入力

参加者名②

回答を入力

参加者名③

親子でちぎり絵

小学校1年生親子対象

「在宅取組型」 夏季休業中



令和5年度1年生PTA会員様
 輪之内町立大藪小学校PTA
 PTA会長
 家庭教育学級長

家庭教育学級【在宅取組】

『親子でちぎり絵』取組のご案内

盛夏の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 日頃は、本校のPTA活動及び教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
 さて、家庭教育学級の在宅取組として、夏休みの期間中に『親子でちぎり絵』取組を計画しました。
 この取組は、家庭での親子の関わりを増やすために、親子で協力し合い1つの作品を創り上げ、子ども達の心と身体の健やかな成長を促すことを目的としております。
 下記のように取り組みますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

- 取組期間 夏休み中
- 取組方法
 - ・学校より、個人懇談時に画用紙を配付します。
 - ・画用紙に好きな絵を描いて、ちぎり絵を創作してください。
 - ・ちぎり絵に使用するものは、ご家庭にあるもの(折り紙、広告用紙、新聞、包装紙等)を活用ください。
 - ・のりや両面テープ等ではがれないように接着をしてください。
 - ・画用紙の裏面に、お子さんの氏名を書いてください。
 - ・9月に、この取組のアンケートをとりたいと考えています。
- 提出
 - ・8月29日(火)、お子さんを通じて担任の先生に提出してください。

親子で楽しい時間をつくってください!

親子の関わりのため

親子の関わりは、何か1つのことを一緒に取り組むことで強くなります。この「親子でちぎり絵」は、親子で協力し合い1つの作品を創り上げ、子ども達の心と体の健やかな成長を促すことを目的としています。

どんな絵にするか、どのような紙をちぎって貼るのかという親子の相談の段階から関わりは始まります。紙をちぎるのも、貼るのも時間がかかります。時には、いやになってしまうこともあるでしょう。しかし、作品を制作するその時間が親子の会話を増やします。楽しく取り組むことができたという声が多く、大藪小学校の家庭教育学級の定番となっています。

出来上がった色とりどりの作品は、教室の後ろに掲示されました。



素敵な作品が並びました。



子どもの感想

ちぎりえがたのしかったです。

たいへんだったけど、たのしかった。

おりがみをちぎるのがたのしかったです。

おもったよりもじょうずにできてうれしかった。

かっこよくできてうれしかった。

たいへんだったけど、すごくじょうずにできてよかったです。

むずかしかったです。

保護者の感想

普段忙しく子どもとゆっくり何か活動したり、同じ作業をしたりすることが少ないので、楽しく会話をしながら取り組めてよかったです。

どんな絵にするか、どんな折り紙を使うか、子どもと相談しながら楽しむことができました。子どもが途中で嫌になるなど、大変な事もありましたが、やってみると夢中になってしまいました。

ちぎり絵を制作しながら子どもと話げできたのでよかったです。

子どもの好きなキャラクターだったので、楽しくできたようでよかったです。ちぎり絵はやった事がなかったので、よい機会になりました。

最初は子どももどうやるのか分からず不安そうでしたが、一緒にやっているとだんだん楽しんでできるようになっていきました。手伝いつつ、見守ることも大切と思えました。

娘が下書きをし、細かくて難しいところは私が担当、大きくてやりやすい所を娘の担当としました。折り紙をちぎったり、それをのりでくっつけたりと、親子で楽しく取り組みました。

「『夏といえば』の絵にしようか!」と思い浮かぶものをみんなで話し合い、最終的に「家族みんなで花火を見ているところ」にしました。私が色紙をやぶり、子どもが色紙を貼っていってくれました。「ここはこうしようか?」と相談しながら、子どもの作品を作る過程を直接見ることはよかったです。子どももよろこんでいてとてもよい時間でした。